



伊奈病院は

(財) 日本医療機能評価機構の

認定病院です



## 理 念

私たちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さまに信頼される病院をめざします。

### 理念の実行方法

1. 私たちは、十分な説明と同意に基づき分かりやすい医療を実践します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、職員が一体となったチーム医療を実践します。
3. 私たちは、患者様の意思・権利・プライバシーを尊重し、思いやりのある医療を実践します。
4. 私たちは、地域に信頼される病院を目指すとともに、職員としての誇りを持つる職場を作ります。
5. 私たちは、健全で効率的な病院経営基盤を確立し、地域の基幹病院としての使命を遂行します。

## 予防接種について

医事課 山村 圭司

予防接種を受けるには必要な理由がございます。乳幼児は成人に比べ病気に対する免疫力が大変小さいです。また成人でも免疫を持っていない場合は病気を発症してしまいます。病気に罹ってしまうと重い後遺症が残ってしまったり、生命を脅かされてしまう場合もあります。そうならない為に予防が一番であり、その最も安全で確実な方法が予防接種となります。

しかし予防接種のワクチンによっては、接種する年齢や回数・間隔が異なります。お子さまに合ったスケジュールを立てていただき、最も良い時期に接種出来るように心掛ける必要があります。スケジュールを立てる際には、日本脳炎やBCGといった定期接種や公費助成があるワクチンに必要な「予診表(接種券)」「がお手元にあるかご確認ください。もしお手元に無いのであれば、各地方自治体(市区町村)の予防接種担当窓口にお問い合わせください。またワクチンによっては次の予防接種との間隔が異なります。ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンに分けられており、生ワクチンは接種後4週間以上、不活化ワクチンは接種後1週間以上接種間隔を作る必要があります。スケジュールを立てられる際には接種間隔をご確認していただくようお願い致します。

また予防接種をするにあたり、掛かりつけの小児科医で接種されることをお勧め致します。仮に病気を発症して予防接種が予定通りにいかない場合や、接種した後でお子さまの様子が変わった場合、一番頼りになるのはやはり掛かりつけの小児科医となります。

伊奈病院では、今年度も同様の予防接種を行うことが出来るようになっております。お子さまにあったスケジュールを立てて接種していただくようお願い申し上げます。

# 春のおすすめメニュー

～暖かい季節を迎え、春らしいメニューはいかがですか～

## ☆筍とえんどう豆の混ぜご飯〔4人分〕

〈材料〉

米 2合（炊く30分前に研ぎ、ざるにあげる）

筍 80g（2cm位のいちょう切り）

油揚げ 1枚（縦半分に切り5mm幅の短冊）

グリーンピース 40g（茹でて、水にとる）

※ 〔 塩 小さじ1杯、酒 大さじ1杯  
みりん 大さじ1杯、醤油 大さじ2杯 〕

出し汁 400cc

〈作り方〉

- ①筍と油揚げは、合わせた調味料※に浸しておく。
- ②ざるにあげた米と①、出し汁を加えて混ぜ、炊飯器で炊き、最後にグリーンピースを加えて混ぜる。



## ☆はまぐりの洋風スープ〔4人分〕

〈材料〉

はまぐり 300g（砂抜きをして、こすり洗いをする）

人参 60g・セロリ 30g（千切り）

にんにく 1片（2つに切り、つぶす）

パセリのみじん切り・塩・こしょう 少々

油 大さじ1杯、白ワイン 50cc、スープ 700cc

〈作り方〉

- ①鍋に油とにんにくを加え、香りが出るまで炒める。
- ②①にはまぐりを入れ炒め、白ワインを加え蓋をして蒸し煮にする。（はまぐりの口が開くまで）
- ③②にスープ、人参・セロリを入れて煮、塩・こしょうで味を整え、器に盛りパセリを散らす。



## 行事食のご案内

当院栄養科では月に1回、入院中の患者さんへ行事食を提供しております。毎回手作りのカードを添えて、季節感を味わい楽しんで頂けるようスタッフ一同取り組んでおります。



〈昨年のお花見弁当〉

## 節分の豆まき



2C病棟（療養型病棟）では、節分の時期になるとレクリエーションの一貫として豆まきをしています。患者さんが、スタッフと共に、お手玉やたまごボーロを代用して豆まきを楽しみました。



## 第3回理学療法士によるスポーツ地域支援研究会

リハビリテーション科 野澤清志

みなさん、普段こんな症状で悩んでいませんか？

- 腕が上がりにくい
- ズボンのポケットに手を伸ばしづらくなった
- 洗濯物が干しづらくなった



上記のような症状が見られたら、肩の拘縮が関連しているかもしれません。

平成27年2月14日に第3回理学療法士によるスポーツ地域支援研修会で『肩関節拘縮を予防しよう』を開催しました。当日、お忙しい中ご参加くださった方、本当にありがとうございました。今回は肩関節拘縮を予防しようということで肩の構造から拘縮予防のストレッチを行いました。肩関節は、他の関節より複雑な動きをするため、大きい筋肉から内側の筋肉までその構造も複雑です。また、安静時や夜間に痛みのある時・関節に炎症がある時期に動かすとかえって症状を長引かせてしまう原因にもなります。そういった普段わかりにくいことを中心に講義と、どうすれば障害を予防できるかのセルフチェックから拘縮予防の体操を行いました。研修会后皆様から頂いたアンケートには『肩が上がりやすくなった』『体が軽くなった』といった嬉しい声を頂きました。

我々、リハビリテーション科の職員は、リハビリを行うことだけが仕事ではなく、障害を予防するためにはどうすればよいかといったコンディショニングや、障害予防にむけた教室も我々の重要な仕事です。

今回頂いたアンケートには『腰』『膝』をテーマに講義を開催して欲しいとの声もありました。今年度から開始してまだ3回目ですが、今後も定期的に違ったテーマで障害予防の教室を開催できたらと考えています。

今回ご参加いただけなかった方も次回はぜひお越しください。



## 患者さまからのメッセージ

Q、駐車場が何時も満車、仕方がないと思いますが、人手不足とは考えられず、警備を兼ねた職員の配置を是非ともお願いします。（中略）患者もしくは運転者同士での争いも目にしており、私たちも困っております。空いたスペースへの誘導を兼ねた案内等を行っていただきたく思う次第です。近隣者とのトラブル苦情も耳に入っていないのでしょうか？薬局駐車場脇の住民からも苦情があり病院への声は届いていないのでしょうか？早急な対応をお願いします。

A、ご貴重なご意見ありがとうございます。2月より午前中の混雑する時間帯で駐車場整備担当の職員を配置いたしました。皆さまがより利用しやすくなるよう努力してまいりますので宜しくお願いいたします。

Q、入院前はとても不安な日々を過ごしておりましたが、家族に見守られながら入院。担当医、看護師さんの優しさに安心して手術をして頂く事ができました。術後の痛みと、自由にならない身体でわがままな私に、とても優しく心をおちつかせて下さいました。大変だったりハビリも乗り越えることができ、あっという間の一ヶ月でした。患者に対しての心配りの細やかさと、優しい言葉で安心してベッドにいる事ができました。とてもいい病院で治療をして頂きことができました事に感謝しております。ありがとうございました。

A、心温まるお言葉をありがとうございます。

今後も患者さま中心の医療が提供できるように、スタッフ一同努力してまいります。どうかお大事になさってください。

### 緩和ケアの部屋

がん患者さんが望むクオリティ・オブ・ライフ（生活の質）とはなんなのでしょうか？

ある調査によると、がんの療養にあたって大切にしたいこととして、多くの患者さんが苦痛がないこと、望んだ場所で過ごすこと、希望や楽しみがあることなどをあげています。そのためには、緩和ケアを上手に利用して、体の痛みや症状、心のつらさを積極的にのぞいていくことが重要です。

また「自分と相談すること」「も大切です。「いま、何を大切にしたいのだろう」と自分に問いかけてみてください。やりたいことがあれば、治療に向き合う心も強くなります。体に負担がかからない範囲で、やりたいこと、やってみたいことを、周囲の人にも伝えましょう。がんは患者さんの生活全体にかかわる病気ですから、周囲の人の力を借りることがとても大事です。

緩和認定看護師 佐久間 紀香



医療法人社団愛友会 伊奈病院

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 9419

TEL : 048-721-3692(代)

ホームページ :

<http://www.inahp.saitama.jp>

公式 facebook ページ : <http://www.facebook.com/inahospital>

伊奈病院  
携帯サイト

右記のQRコードより  
アクセスしてください。

<http://www.inahp.saitama.jp/mobile/>

